

令和7年度

一般社団法人
福岡県ラグビーフットボール協会

総会資料



日時 令和7年5月18日（日） 16時～
場所 福岡中央銀行 本店 7階 大会議室

（一社）福岡県ラグビーフットボール協会

次 第

1 開 会 の 辞

2 会 長 挨 拶

3 議 長 選 出

4 議 案

- (1) 令和6年度 事業報告
- (2) 令和6年度 収支決算報告
- (3) 理事等改選(案)
- (4) 令和7年度 事業計画(案)
- (5) 令和7年度 収支予算(案)
- (6) その他

5 閉 会 の 辞

令和6年度 事業報告

1 総会

令和6年5月19日(日)14時～ 場所:福岡中央銀行 本店 7階 大会議室・Zoomミーティング

2 令和6年度登録チーム数(令和7年3月31日現在)

	スクール (小学生)	スクール (中学生)	中学	高校	高専	大学	社会人	クラブ	女子	計	前年比
チーム登録数	26	23	9	44	3	14	11	22	5	157	+2
個人登録数	1,732	1,478	140	1,231	77	587	623	914	100	6,882	+82

※5年度からチームスクールの算定方法を変更したことによるチーム数の増あり。

3 理事会

5月、4月に開催(年2回)

4 常任委員会

5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、2月、3月、4月に開催(年11回)

5 企画委員会

企画委員会としての開催はなかった。

事業総括

委員会としての取組みはなかったが、今後は少子高齢化により減少傾向にある競技人口に対する取組み、ラグビーという競技の魅力を広く伝えていく取組みなど、福岡県ラグビーフットボール協会の組織基盤の強化に向けた施策を提示できるよう取り組んでいきたい。

6 総務委員会

総務委員会としての開催はなかったが、オーストラリアNSW州ラグビー協会と交わしたMOUに基づき、NSW州からの高校の交流の受入、大学生の留学、レフリーの留学の協議、Nanairo CUPへの参加チームの招聘を行った。
また、福岡県からの支援を受け、令和6年度福岡県ラグビーによる交流推進事業として、3つの事業を実施した。

内容、取組

- 1) 福岡県ラグビーによる交流推進事業
 - ①普及啓発活動(ラグビー体験教室)
13小学校・822名参加、指導:5チーム・延べ66名
 - ②競技力向上事業(TOP選手によるラグビークリニック)
計8回JAPANBASEで実施。参加:68チーム・参加者数:683名、指導:6チーム・延べ46名
 - ③国際交流推進事業(アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ)
海外:2か国・1地域 国内:2スクールから合計6チーム参加、参加者数:97名
- 2) NSW州協会との交流推進事業
 - ①ラプターズアカデミーとの交流(U-18,U-14男女交流試合)
 - ②留学(レフリー)の調整
 - ③Nanairo CUP2025へのチーム派遣
- 3) ガバナンスコード整備に伴う、アンケート調査、研修参加(JRFU、福岡県スポーツ協会)
- 4) 各種表彰に関する候補者推薦に関すること

事業総括

令和6年度は、福岡県ラグビーによる交流推進事業の3事業(①ラグビー体験事業、②ラグビークリニック、③アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ)を主な事業として展開し、ラグビーの普及、競技力の向上、ラグビーを通じた国際交流を図ることができた。

次に、組織体制の見直しを行い、常任委員委員会を年間を通して開催し、協会内の情報共有、連携を図ることができた。

また、NSW州協会との交流推進によりラプターズアカデミーが来福し、県内チームと交流試合が実施出来た。他、Nanairo CUP2025へ女子チーム2チームが参加した。更に、人的交流としてレフリーの留学について、調整、留学の成立ができた。

6 主管試合実行委員会

事業

- 1) 太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ2024(第1戦北九州大会) 4/6・7 ミクニワールドスタジアム北九州
12チーム参加
順位 1位:ながとブルーエンジェルス、2位:PEARLS、3位:ナナイロプリズム福岡
- 2) サニックスワールドラグビーユース交流大会2024 4/28～5/5 グローバルアリーナ
男子15人制、女子7人制の国際大会として実施
男子13チーム参加(国外5・国内8) 優勝:大阪桐蔭高等学校(大坂) 準優勝:桐蔭学園高等学校(神奈川)
女子8チーム参加(国外4・国内4) 優勝:福岡ラグビーフットボールクラブ(福岡) 準優勝:京都成章高等学校(京都)
- 3) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023-24 DIVISION2
順位決定戦第2節 九州KV 42 - 32 釜石SW 4/28 博多の森陸上競技場
- 4) 太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2024
女子日本代表 17 - 17 女子アメリカ代表 8/11 ミクニワールドスタジアム北九州
- 5) 令和6年度国民スポーツ大会第44回九州ブロック大会 8/23・25・27 宮崎県 ひなた宮崎県総合運動公園
ラグビー場・陸上競技場
成年男子:予選リーグ(1勝1敗、3位)代表決定戦 福岡県5-26長崎県 2回戦敗退(本大会出場権獲得無し)
女子:予選リーグ(2勝、1位)代表決定戦 福岡県20-0長崎県 本大会出場権獲得
少年男子:代表決定戦 福岡県19-24大分県 2回戦敗退(本大会出場権獲得無し)
- 6) 佐賀国民スポーツ大会ラグビーフットボール2024 10/11・12 佐賀県 SAGAサンライズパーク
女子の部
決勝 福岡県(選抜) 22 - 17 山口県(選抜) 福岡は7年ぶり2度目の優勝
- 7) JAPAN RUGBY LEAGUE ONEプレシーズンマッチ
LR福岡BLUE 39 - 33 LR福岡ORANGE 11/17 久留米陸上競技場
- 8) 第61回全国大学選手権大会 2回戦
福岡工業大学 39 - 32 IPU環太平洋大学 11/30 博多の森陸上競技場
- 9) サニックスワールドラグビーユース交流大会2025予選会 1/1～5 グローバルアリーナ
国内 9チーム参加
決勝戦:京都成章高等学校 31-0 東海大学付属相模高等学校 ※京都成章高等学校 本大会出場権獲得
- 10) 北洋建設presents Nanairo CUP北九州『KYUSHU WOMEN'S SEVENS 2025』
女子7人制の国際大会として実施 2/8・9 ミクニワールドスタジアム北九州
女子10チーム参加(国外3・国内7) 優勝:ナナイロプリズム福岡 準優勝:ながとブルーエンジェルス
国外チームは、オーストラリア2チーム、シンガポール1チーム
- 11) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION1
第5節 トヨタV 22 - 38 埼玉WK 1/19 ミクニワールドスタジアム北九州
第10節 BL東京 31 - 27 S東京ベイ 3/1 白波スタジアム(鹿児島)
※FRFUから記録応援派遣
- 12) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION2
第1節 九州KV 27 - 23 釜石SW 12/21 ベスト電器スタジアム
第3節 九州KV 10 - 26 S愛知 1/11 ミクニワールドスタジアム北九州
第8節 九州KV 30 - 35 GR東葛 3/15 博多の森陸上競技場
第9節 九州KV 16 - 14 RH大阪 3/23 えがおスタジアム(熊本県)
※FRFUから記録応援派遣
- 13) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION3
第1節 LR福岡 17 - 25 L戸田 12/22 久留米陸上競技場
第2節 LR福岡 17 - 39 中国RR 1/5 久留米陸上競技場
第5節 LR福岡 5 - 66 SA広島 1/25 久留米陸上競技場
第7節 LR福岡 3 - 57 狭山RG 2/23 久留米陸上競技場
第9節 LR福岡 27 - 54 WG昭島 3/16 久留米陸上競技場
第12節 LR福岡 33 - 17 中国RR 3/30 久留米陸上競技場

事業総括

サニックスワールドラグビーユース交流大会2024、サニックスワールドラグビーユース交流大会2025予選会、令和6年度国民スポーツ大会第44回九州ブロック大会、佐賀国民スポーツ大会、第60回大学選手権大会 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25、Nanairo CUP 2025と、例年開催されてきた大会に加え、太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ2024(第1戦北九州大会)、太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2024「女子日本代表vs女子アメリカ代表」のテストマッチと、多くの大会が福岡で開催された。

特に北九州市の、ミクニワールドスタジアム北九州では、九州初開催の太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ、女子テストマッチ、Nanairo CUPが開催され、女子日本代表のメッカとなり、福岡の女子ラグビーの競技力の向上につながっている。

また日本最高峰LEAGUE戦である、JAPAN RUGBY LEAGUE ONEに、新たにルリーロ福岡が参入し、開催試合数が飛躍的に増加した。また、今期は、福岡初のデビジョン1の試合が、ミクニワールドスタジアム北九州で、トヨタヴェルブリッツのホームゲームで開催され、同施設の有料来場者数の最高数を樹立した。

いろんなカテゴリーのハイレベルの試合を数多く開催することで、多くの方々にラグビーと接する機会を提供し、することで、ラグビー認知度を上げるとともに、減少傾向になる競技人口の対策となっていることができたと確信している。

7 競技委員会

内 容

- | | | |
|---------------------------------------|------|------------------|
| 1) 球技場調整会議
久留米総合スポーツセンター球技場等利用調整会議 | 2/2 | 久留米総合スポーツセンター体育館 |
| 2) 球技場等利用調整会議
球技場等利用調整会議 | 2/3 | ベスト電器スタジアム会議室 |
| 3) 競技委員会
球技場等各委員会割り付け | 2/22 | 福岡県協会会議室 |

事業総括

競技場等の確保ならびに円滑な利用促進。

8 広報委員会

事 業

- | | | | |
|-----------------------------|---------------|-----------|-----------------|
| 1) LO順位決定戦 | 受付、記録、記者会見 | 4/28 | 博多の森陸上競技場 |
| 2) サニックスワールドラグビーユース交流大会2024 | 記録補助、写真撮影、SNS | 4/28～5/5 | グローバルアリーナ |
| 3) 第77回全九州高校大会予選 | 写真撮影、SNS、HP | 6/2 | 春日公園球技場 |
| 4) 第7回福岡県女子中学生セブンズ競技大会 | 写真撮影、SNS、HP | 6/16 | 白水大池公園グラウンド |
| 5) 第46回福岡県中学生競技大会 | 動画・写真撮影 | 6/30 | JAPAN BASE |
| 6) 第40回福岡県中学校競技大会 | 動画・写真撮影 | 6/30 | JAPAN BASE |
| 7) 女子日本代表vsアメリカ代表 | 試合記録・写真撮影、SNS | 8/10 | ミクニワールドスタジアム北九州 |
| 8) 協会公式サイトリニューアル | 公開 | 9月 | - |
| 9) クラブリーグ | 写真撮影 | 9/11 | 春日公園競技場 |
| 10) 高校ラグビー決勝放映交渉 | 11月 放送枠交渉 | 10月 | 3社 |
| 11) 福岡県高校大会 | 写真撮影、SNS、HP | 11/3 | 博多の森陸上競技場 |
| 12) 福岡県高校大会 | 写真撮影、SNS、HP | 11/9 | ベスト電器スタジアム |
| 13) ルーリー口福岡イベントマッチ | 受付、記録、記者会見 | 11/17 | 久留米陸上競技場 |
| 14) 第61回全国大学選手権大会 | 受付、記録、撮影、SNS | 11/26 | 博多の森陸上競技場 |
| 15) 第41回福岡県中学生新人大会 | 写真撮影、SNS、HP | 12/1 | 博多の森補助G |
| 16) 第40回福岡県中学生新人大会 | 写真撮影、SNS、HP | 11/20, 27 | 各地 |
| 17) 福岡県クラブフレンドリーマッチ | 撮影、SNS | 12/15 | ベスト電器スタジアム |
| 18) リーグワンD2/D3 | 受付、記録、記者会見 | 12月～3月 | 各地 |
| 19) 3地域社会人リーグ | 写真・動画撮影 | 12/21 | JAPAN BASE |
| 20) アジアオセアニア交流大会 | 写真・動画撮影 | 2月1日・2日 | JAPAN BASE |
| 21) 高校新人大会 | 撮影・SNS、HP | 2/2 | 春日公園競技場 |
| 22) 全九州高校大会決勝 | 写真撮影 | 2/9 | グローバルアリーナ |

事業総括

- ① 情報発信の強化
4大会のライブ配信を実施したが、人員の確保が難しく福岡県スポーツ推進基金へ依頼、サポートを行った。
- ② 協会のDX化
LINE WORKSの活用を図っていたが、利用率は伸びず他の手段を検討する。
- ③ 県協会HPリニューアル
CMSの導入を行い情報発信をスムーズに行えるようになった。
バナー広告で収益化を実施しているが、働きかけが足りない。
- ④ 取材範囲の拡大
クラブの大会撮影を実施した。

9 規律委員会

内 容

規律・コンプライアンス・インテグリティに関すること

協議案件

中学生、小学生レベルでインテグリティ案件が発生したため協議を行った。
いずれも、チームにおいて適切に対応されていたので、注意喚起の身を行った。

事業総括

安全推進・インテグリティ講習会並びに、理事会等でコンプライアンス・インテグリティの順守については周知徹底を行い規律違反が生じないように取り組んでいる。
残念ながら、JRFUインテグリティ相談窓口への申し立て1件、当事者からの申し入れ1件があったので、事実確認を行い注意喚起を行なった。
また、事案発生のカテゴリーに所属するチームに対し、インテグリティに関するアンケートを実施し、潜在的な意識に対し、「きずき」から事案発生を予防する取り組みを行った。
当協会も、スポーツガバナンスコードの確立を求められており、今後も、チーム・選手に対し規律・コンプライアンス・インテグリティの順守を徹底していく必要がある。

10 レフリー委員会

事 業

- | | | | |
|------------------------|----------------|-------------------------|----------------------------------|
| 1) C級レフリー筆記・実技テスト | 27名合格 | 4月～8月 | 座学・筆記試験:GA
実技:雁の巣グラウンド他
諫早 |
| C級レフリーの認定(MO資格制度) | | | |
| 2) 九州アカデミーセレクションへの派遣 | セレクション行われず派遣無し | 5月 | |
| 九州協会アカデミー事業 | | | |
| 3) レフリング指針講習会 | 3回実施 | 7月 | 福岡・北九州・久留米 |
| 日本協会レフリング指針、ルール変更伝達 | | | |
| 4) 若手レフリー研修 | 研修会:座学、実技コーチング | 3名受講 | 8/25 |
| 5) 九州レフリー委員長会議 | 事業・研修会打合せなど | 6, 12, 2月 | 久留米高専合宿
2回はオンライン、1回:福岡(12月) |
| 6) 福岡県レフリー委員会 | | 7月、3月 | 2回とも資料配付のみ |
| ルール伝達、研修会打合せなど | | | |
| 7) 九州協会B級レフリー認定講習会 | 4名受講、合格 | 7月、8月 | 7月:座学:オンライン
8月:実技:阿蘇高校合宿 |
| 受講レフリー派遣 | | | |
| 8) 九州協会B級レフリー研修会 | 5名派遣 | 8/1～3 | 高校合宿(久住・湯布院) |
| 9) 九州協会B級トップレフリー研修会 | 2名派遣 | 7月30日～8月1日 | 高校合宿(久住・湯布院) |
| 10) B級中堅・有望C級レフリー派遣 | | 9月～12月 | ルークス'カップ'交流戦、U16U17交流会、シーズン試合 |
| 九州協会事業へのレフリー派遣、レベルアップ | | | |
| 11) 九州協会研修派遣レフリーレベルアップ | | 4月～8月 | 各試合会場 |
| 春・夏の練習試合でのコーチング | | | |
| 12) ピッチコントローラ研修 | | 4月～11月 | 各試合会場 |
| 春～秋シーズン試合を担当 | | | |
| 13) MRR認定講習会 | 座学、実技実施 | 9回、延べ11人受講、4名をJRLO:TK/P | パネル指定 |
| MRR研修 | 26名合格 | 11/30 | 宗像キッズセブンズ |
| 実技コーチング | | | |
| 対象:大会担当レフリーコーチ:延べ11名 | | 11/10, 3/2 | 小学生大会 |
| 14) AR研修 | 座学・実技コーチング | レフリー:4名コーチ:4名 | 2/9 |
| ルークス'カップ'@浮羽究真館高校 | | | |

事業総括

- C級レフリー認定講習会:27名合格。25歳以下6名。
- MRR認定講習会:26名合格。
- 下記レフリー研修を実施し各カテゴリーレフリーのレベルアップを実施
 - ①25才以下レフリー研修:3名参加。上位へのチャレンジ意識向上ができた
 - ②④MRRレフリー研修:MRRからジュニアレフリーへのチャレンジを促す
 - ③AR研修:6名参加。レフリー・ARのMOでの運営を促進
- C級レフリーの九州協会B級認定を見据えたレベルアップ活動
春先より候補レフリーを挙げ、高校練習試合を担当、コーチング実施。4名合格。
- B級中堅、若手レフリーの九州協会B級トップ・レベルアップを見据えた活動
ルークス'カップ'交流戦、U16U17九州交流会、ワールドユース予選に派遣。
課題:次のB級トップレフリー育成。
- 女子レフリー育成:高校3年生x2名が意欲的に活動。また高校2年生x1名、大学1年生x1名がC級合格
日本協会・九州協会と協業で育成実施
- 秋シーズン試合へのMO割当
福岡県クラブリーグ戦、九州協会試合へのAR割当
課題:対応レフリーが固定化されており、レフリー数増加、割当て作業の効率化

11 コーチ委員会

事業

1) スタートコーチ資格認定講習会	オンライン開催	年間通して	オンライン
2) JRFU A級コーチ養成講習会	講義はオンライン 実技は集合 29名(内、県内コーチ11名)	7/24～28	オンライン集合:グローバルアリーナ
3) JRFU B級コーチ養成講習会	講義はオンライン 実技は集合 21名(内、県内コーチ6名)	12/12～15	オンライン集合:福岡大学
4) JRFU C級コーチ養成講習会	集合型 13名 (内、県内コーチ11名)	11/17	久留米大学
5) JRFU C級コーチ養成講習会	集合型 JRFU主催女性限定 8名(内、県内コーチ6名)	3/2	久留米大学
6) コーチカンファレンス	オンライン開催	9月	オンライン
7) 全国コーチ委員長会議		5月、10月	オンライン
8) JRFUコーチング部門会議	オンライン開催	4月、9月、1月	オンライン

事業総括

主な事業は、コーチ資格講習会を開催しコーチ資格保有者を増やすことであり、コーチとしての在り方、指導方法を広めることにより日本のラグビーの発展につながると考えている。
A級、B級、C級の各コーチ講習会を行える県は全国でも少なく、今後も続けていく。
C級コーチ資格については、新たなエドゥケーター1名が資格を得た。(現在5名)
県内チームコーチの受講数が低かった。
女性限定のC級コーチ講習会の開催も日本協会から今年も依頼されて行ったが、実際は参加者が少なく現役選手に声をかけて受けている状態である。悪いことではないが、他県にも周知することで女性コーチを増やす活動につなげていきたい。

12 中学委員会

事業

1) 第46回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会 兼太陽生命カップファーストステージ 優勝: 韃ヶ谷ラグビースクール 準優勝: りんどうヤングラガーズ 第3位: つくしヤングラガーズ	4/28～7/7	舞鶴公園球技場 春日公園球技場 JAPAN BASE
2) 第40回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会 兼太陽生命カップファーストステージ 優勝: 福岡市立城南中学校 準優勝: 福岡市立百道中学校・福岡舞鶴誠和中学校・志免中学校	6/30～7/14	JAPAN BASE 春日公園球技場
3) 福岡県代表選手選考会 男子: 20名選出 女子: 20名選出	8/18～8/20	福工大城東高校 修猷館高校 JAPAN BASE
4) 福岡県選抜練習会九州ジュニア選抜大会全国ジュニア選抜大会 男子: 九州大会優勝、全国大会3位 女子: 九州大会優勝、全国大会優勝	9月中旬～12月下旬	熊本、東京
5) 第42回福岡県中学生新人ラグビーフットボール大会 Aパート 優勝: かしいヤングラガーズ 準優勝: 韃ヶ谷ラグビースクール 第3位: りんどうヤングラガーズ Bパート 優勝: 京築少年少女ラグビースクール・RFC筑豊ジュニア合同チーム 準優勝: 筑紫丘ラグビークラブジュニアスクール 第3位: ヤングウェーブ	9/29～12/1	舞鶴公園球技場 春日公園球技場 博多の森補助競技場 JAPAN BASE
6) 第39回福岡県中学校新人ラグビーフットボール大会 優勝: 福岡市立城南中学校	3/9	春日公園球技場

事業総括

○強化事業は、男子が全国大会で3位、女子は優勝することができた。
○主催する大会は滞りなく実施することができた。
○主催する大会においてグラウンドの確保が難しく、特に芝のグラウンド確保が厳しい状態であった。

13 普及育成委員会

事業

【ミニラグビー部門】

- | | | |
|----------------------------|------------------|----------------------|
| 1) 第45回小学生県大会 | 10/27、11/3、11/10 | 春日公園・本城競技場、JAPANBASE |
| 県民スポーツ大会公開競技 24スクール 456人参加 | | |
| 2) MRR認定講習会 | 受講者28名 26名合格 | 11/30 グローバルアリーナ |
| レフリー委員会と共催 | | |
| 3) 第35回小学生新人大会 | 24スクール 452人参加 | 2/23、3/2 JAPAN BASE |
| 福岡舞鶴LC杯 | | |
| 4) 第14小学生卒業フェスティバル | 15スクール 226人参加 | 3/30 JAPAN BASE |

【タグラグビー部門】

- | | | |
|--|-----------------|-----------------|
| 1) ラグビー体験会 | 約30人参加 | 5/3 海の中道海浜公園 |
| 2) タグ・ラグビーティーチャー研修会 | 教職員向け 8名参加 | 8/2 宇美南町民センター |
| 3) 福岡県タグラグビーフェスタ | 120名参加 | 9/29 海の中道海浜公園 |
| 福岡県スポーツフェスタ・ふくおか | | |
| 4) 第21回全国小学生タグラグビー選手権大会福岡県大会 | 12/1 JAPAN BASE | |
| SMBCカップ県予選 100名参加 優勝RFC筑豊 準優勝PhoenixJr | | |
| 5) タグ・ラグビー交流会 | 13スクール 277人参加 | 2/9 JAPAN BASE |
| 福岡県交流事業 | | |
| 6) 福岡県タグラグビーフェスタin糸島 | 60名参加 | 3/9 二丈交流体験広場 |
| 7) U8タグ・ラグビー指導者講習会 | スクール指導者67名参加 | 3/15 JAPAN BASE |
| 福岡県交流事業 | | |

事業総括

令和5年度からの重点課題

- ①U8へのアプローチ→福岡県の事業を活用し、交流会と指導者講習会を実施。交流会は約270人参加。
- ②女子コーチ、MRRの発掘育成→MRR受講者2名。
- ③行政や諸団体との関係強化→2つのライオンズクラブや宇美町との連携は継続。
- ④各スクールでの体験会への連携→九州協会と共同で太宰府地区で開催。初心者約30人が参加。3スクールが参加協力。1名がスクールへ入部に繋がった。
- ⑤協賛企業の開拓→新たに3社が協賛頂いた。

総括としては

- ①については小学年生以下のイベントを初めて開催したが、子供達が元気よく楽しむ様子がみれて指導者も保護者も盛り上がった。普及の原点だと感じた。
 - ②についても女子の参加があった事は前進できたと思う。
- 他には普及育成委員会に新しく2名が参画してくれた。

14 安全対策委員会

事業

- | | | |
|--------------------|-----|---------|
| 1) 安全・インテグリティ伝達講習会 | 2月 | オンライン |
| 2) メディカル・安全対策合同総会 | 3/8 | JR博多シティ |

事業総括

本委員会の主な事業の①安全推進講習会②セフティーアシスタント認定講習会の2つは日本協会によるオンラインで開催された。よって県協会では日本協会オンライン講習会等の案内(実受講チームへの連絡)を行った。7月「熱中症対策」10月「重症傷害時の対応」について(日本協会)を件HPへ掲示

16 クラブ社会人委員会

事業

1) クラブ総会	3/20	福岡中央市民センター& リモート
2) 理事会	5/18	福岡県協会事務所 & リモート
3) 理事会	6/28	福岡県協会事務所 & リモート
4) 理事会	8/2	福岡県協会事務所 & リモート
5) 公式戦前会議	8/26	福岡中央市民センター& リモート
6) 県秋季リーグ戦	9月～10月	各会場
Aリーグ 帆柱クラブ 優勝 九州実業団へ推薦		
Bリーグ 福岡市消防局 優勝	9月～11月	
Cリーグ カブト虫クラブB 優勝	9月～11月	
7) 九州実業団 帆柱クラブ 出場(準決勝敗退)	11月	沖縄県
8) 九州トップクラブリーグ戦	10/10～12/5	各会場
参加チーム 福岡カブト虫クラブ・玄海タンガロア		
9) 理事会	10/25	福岡県協会事務所 & リモート
10) 入替戦	12/1	雁ノ巣D
11) フレンドリーマッチ	12/15	宇美町総合運動公園
12) 理事会	1/17	福岡県協会事務所 & リモート
13) 理事会	2/28	福岡県協会事務所 & リモート

事業総括

秋季リーグ・フレンドリーマッチを全て行うことが出来た。
 クラブ実業団大会はAリーグ優勝、帆柱クラブが出場し、惜しくも準決勝で敗退。(雷雨の為、前半20分で試合中止)
 福岡市役所が正式に廃部することが決定した。
 リーグワンは九州電力・ルリーロが参戦。
 クラブチームに関しては、今年度も試合のグラウンド(芝)・練習場の確保が十分ではなく、グラウンドの確保に課題が残った。

17 大学・高専委員会

事業

福岡県所属チームが、九州学生リーグ(D)に参加のため、福岡県リーグ不成立による未実施

事業総括

ほとんどのチームが九州学生リーグに所属し、県リーグの残ったチームはいずれも人数不足の為、試合ができなかった。
 合同練習や合同チームで試合を呼びかけたが反応がなかった。

18 高校委員会

事業

- | | | |
|---------------------------------|--------|------------------------|
| 1) 第77回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選 | | |
| 1回戦～3回戦 | 4/28～ | 筑後広域公園、宇美町総合スポーツ公園、各学校 |
| 準々決勝 | 5/19 | 東福岡高校、JAPAN BASE |
| 準決勝 | 5/26 | 春日公園球技場 |
| 決勝 | 6/2 | 春日公園球技場 |
| 1位 東福岡 | | |
| 2位 東海大福岡 | | |
| 3位 筑紫 | | |
| 4位 小倉 | | |
| 2) 第11回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選 | | |
| 予選リーグ | 4/13 | 春日公園球技場、各高校 |
| 決勝トーナメント | 4/14 | 春日公園球技場 |
| 1位 東福岡 | | |
| 2位 東海大福岡 | | |
| 3位 筑紫・修猷館 | | |
| 3) 第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選 | | |
| 1回戦～3回戦 | 9/22～ | 筑後広域公園、鞘ヶ谷競技場、各学校 |
| 4回戦 | 10/20 | 本城運動場、各学校 |
| 準々決勝 | 10/27 | JAPAN BASE、鞘ヶ谷競技場 |
| 準決勝 | 11/3 | 春日球技場 |
| 決勝 | 11/9 | ベスト電器スタジアム |
| 1位 東福岡 | | |
| 2位 筑紫 | | |
| 3位 修猷館・小倉 | | |
| 5) 九州10人制大会県予選 | | |
| 予選リーグ | 12/1 | 本城陸上競技場、本城運動場 |
| 決勝トーナメント | 12/8 | JAPAN BASE、嘉穂高校 |
| 1位 合同C(中間・折尾愛真) | | |
| 2位 西南学院高校 | | |
| 3位 北筑高校 | | |
| 4位 合同B(八幡・自由ヶ丘) | | |
| 4) 第47回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選 | | |
| 1回戦～2回戦 | 12/15～ | 本城運動場、筑後広域公園、各学校 |
| 3回戦 | 1/12 | 鞘ヶ谷陸上競技場、グローバルアリーナ等 |
| 準々決勝 | 1/19 | グローバルアリーナ、春日公園球技場 |
| 準決勝 | 1/26 | 本城陸上競技場 |
| 決勝 | 2/2 | オクゼン不動産スタジアム |
| 1位 東福岡 | | |
| 2位 筑紫 | | |
| 3位 修猷館 | | |
| 4位 浮羽究真館 | | |

事業総括

今年度の事業報告として、概ね、段階的に通常通りの大会を運営することに成功し、成果を上げることができた。

2月福岡県グローバルアリーナで行われました新人九州大会では大きなトラブルもなく滞りなく運営を進めることができた。年間通して、重傷事故等なく安全に大会や各事業が実施できた。

また、本年度の国体はブロック予選で敗退という結果となり、次年度の滋賀国体に出場そして優勝をできるように事業の改善を図っていくことが急務であると考えている。

第104回全国高校ラグビー選手権大会では福岡県代表の東福岡高校がベスト8という素晴らしい成績を残した。

19 強化委員会

事業

1) 九州セブンズ大会 不参加(メンバー編成不可)	4月14,15日	佐賀市	SAGAサンライズパーク
2) 令和6年度福岡県選手強化推進事業前期ヒアリング 令和6年度の競技団体事業計画と選手強化方針の県への説明	5月中旬	福岡市	福岡県庁
3) 選手強化事業 国体候補選手による強化練習と選手セレクト	6月上旬	福岡市	JAPAN BASE
4) 選手強化事業 国体候補選手による強化練習と選手セレクト	6月中旬	福岡市	JAPAN BASE
5) 九州アイランドセブンズ 九州及び他県チームとの交流試合	7月予定	未定	予算計上
6) 選手強化事業 九州ブロック大会メンバー最終選考	7月下旬	福岡市	JAPAN BASE
7) 選手強化事業 九州ブロック大会メンバー招集・練習会	8月中旬	福岡市	JAPAN BASE
8) 第44回九州ブロック国スポ 公式練習および競技開始式	8/22	宮崎県	ひなた宮崎県総合運動公園
9) 第44回九州ブロック国スポ 予選未定	8/23	宮崎県	ひなた宮崎県総合運動公園
10) 第44回九州ブロック国スポ 代表決定戦未定	8/25	宮崎県	ひなた宮崎県総合運動公園
11) 選手強化事業 中止			
12) SAGA2024国民スポーツ大会 公式練習および競技開始式	10/6	佐賀市	SAGAサンライズパーク
13) SAGA2024国民スポーツ大会 予選リーグ	10/7	佐賀市	SAGAサンライズパーク
14) SAGA2024国民スポーツ大会 決勝トーナメント	10/8	佐賀市	SAGAサンライズパーク
15) 令和6年度福岡県選手強化推進事業後期ヒアリング 令和5年度の競技団体事業の活動報告	2/21	福岡市	福岡県庁
16) 選手強化事業 令和7年度九州セブンズへ向けた練習	3/15	福岡市	JAPAN BASE
17) 選手強化事業 令和7年度九州セブンズへ向けた練習	3/29	福岡市	JAPAN BASE

事業総括

令和6年度国民スポーツ大会において、2種目3種別(7人制成年男子・女子、15人制少年男子)で九州ブロックの代表権の獲得と本大会での競技別成績第1位を目標に取り組んだ。

【目標】 男女総合得点第一位

【結果】 男女総合得点第七位

【総括】 成年男子、少年男子は九州ブロックで敗退し女子が本大会へ進んだ。結果は見事に優勝を果たし昨年の雪辱を果たした。

【重点事業】 例年どおり実施予定の「福岡県強化推進事業およびトップアスリート・女性アスリート育成事業などにおいて計画どおりに各事業を遂行し、本県の競技力向上を図る。」としており、計画通りに事業が遂行された。

本事業は例年同様に当協会ビジョンにおける「4.課題克服のための事業の柱」の「(3)選手の育成・強化体制、指導者育成体制の構築」に基づくもので、指導方法や指導体制の拡充と合わせた活動であり、国民体育大会を通じラグビー競技が地域スポーツの発展に寄与するもの。

20 メディカル委員会

事業

【Dr派遣】

1) 第11回高校7人制	4/13, 14	春日公園球技場他
2) 第77回高校15人制	4/28～6/2	春日公園球技場他
3) 第46回中学生大会	4/28～7/7	JAPAN BASE他
4) 第7回女子中学7人制	6/2～30	JAPAN BASE他
5) 第40回中学校大会	6/30～7/14	JAPAN BASE他
6) 第104回全国高校大会予選	9/22～11/9	ベスト電器スタジアム他
7) 第42回中学生新人大会	9/29～12/1	博多の森補助他
8) 第26回全九州10人制予選	12/1～8	本城運動場他
9) 第47回高校新人大会	12/15～2/2	春日公園球技場他
10) アジア・オセアニア交流	2/1, 2	JAPAN BASE他
11) ナナイロカップ	2/8, 9	ミクニワールドスタジアム北九州
12) 第39回中学校新人大会	3/9	春日公園球技場他

事業総括

医師派遣対象試合は全試合派遣ができた。しかしながら、ギリギリまでDrが決まらないことや最近はあまり出務されていないDrに依頼するなどしてなんとか賄う場面もあり、人材がまだ足りないのが現状である。
JRLO・World youth前に医健・リゾスポ向けに行っている担架搬送訓練に若手Drを招聘して一緒に参加してもらうことで新たなMatch day doctorの増員・育成をはかっていて、少しずつ人数は増えつつあるのは良い兆しである。
今後は医学生向けの安全講習会で担架搬送訓練を行い、SAも無料化したため、取得を必須にするなどしてMatch day doctorに興味を持ってもらうようにする予定である。

21 女子委員会

事業

(中学生)

1) 第9回北部九州交流会	5/12	佐賀県嬉野市
2) 太陽生命カップ(福岡県予選) 福岡RFC優勝・リリーズ2位⇒九州大会出場	6/2、16、31	JB・白水大池・新門司
3) 太陽生命カップ(九州予選) 福岡RFC優勝	8/3	鯛生G
4) 太陽生命カップ(全国大会) 福岡県女子代表優勝	9/14～15	茨城県水戸市
5) 第13回九州ガールズフェスタ	12/7～8	鹿児島県鹿児島市
6) オーストラリア RAPTORS 交流試合 U14:12人制/U15(福岡合同):15人制	1/18	JAPAN BASE
7) 九州ジュニアジャンボリー	1/25～26	グローバルアリーナ
8) SANIXセブンズキャンプ スポ協「中学生発掘強化事業」U15	3/8～3/9	グローバルアリーナ
9) Fukuoka sevens league Princess league(広域)	4/21、10/20	諫早市
10) 県新人大会 福岡RFC優勝	11/24	JAPAN BASE

(高校生)

1) SANIXワールドユース 福岡RFC優勝	4/27～29	グローバルアリーナ
2) 菅平交流会 県「競技力強化事業」次世代ジュニア強化	8/3～6	長野県菅平
3) U18セブンズ九州予選 福岡RFC優勝、CHEERS3位⇒全国大会出場	9/15、16	筑紫台高校
4) 第6回U18セブンズ全国大会 福岡RFC4位	11/14～16	熊谷ラグビー場
5) 第14回九州ガールズフェスタ	12/7、8	鹿児島県鹿児島市
6) 第10回九州高校選抜セブンズ 福岡RFC優勝、CHEERS4位⇒福岡RFCはサニックスワールドユース2025出場権獲得	2/15、16	グローバルアリーナ
7) SANIXセブンズキャンプ	3/8、3/9	グローバルアリーナ

(成年)

- 1) 北洋建設present Nanairo CUP KYUSYU WOMENS SEVENS 2024 2/8、9 ミクニスタジアム
中学生交流試合

(国体)

- 1) 強化練習会 4/20、21 太陽生命WSS視察
県「競技力強化事業」
- 2) 強化練習会 VSシンガポール代表 7/20、21 JAPAN BASE
県「女子アスリート強化事業」
- 3) 九州ブロック国民スポーツ大会 8/22～25 宮崎県宮崎市
福岡県優勝
- 4) 第78回国民スポーツ大会 10/7～10 佐賀県佐賀市
福岡県優勝

事業総括

*「普及事業」・・・(女子競技者)(女子指導者)(女子レフリー)の人口拡大
①(女子競技者)引き続き小学生競技者(RS・クラブ)から中学生女子競技者へ、数を減らすことなく壁を乗り越える事業を展開する。「女子ラグビー・コミュニティ」の創造を進め、「女子ラグビーの価値」を高める。
②「女子ラグビー・コミュニティ」の中に(女子指導者)(女子レフリー)という競技者以外の重要な要員を育成する。女子競技者の人口増加は各スクール及び既存の女子チームのご努力のお陰で371➡となり確実に結果を示す事が出来た。コミュニティを構成する女子委員会開催不足により、エイジグレード間での目標の共有が出来ていない。

*「強化事業」・・・(九州ブロック国体in宮崎優勝)(第1回佐賀国民スポーツ大会優勝)
①4月から始まる「太陽生命WSS」をセレクションの基軸として、早期に強化選手スコッド(15名～20名)の決定を図る。「ALL FUKUOKA」チームへの帰属意識と優勝へのモチベーションを持続する。
②6月以降の時期に「強化練習」の機会を設ける。③本国スポ優勝の為の最良の環境を作る。
シニアチーム「ナナイロプリズム福岡」の選手を中心に「ALL FUKUOKA」として候補を決め、シンガポール代表戦を含む強化合宿を経て臨んだ(九州ブロック大会)(第78回国民スポーツ大会SAGA)において「優勝」する事が出来た。登録選手10名のうち(福岡出身)が8名という構成で、県内中学～高校での一貫指導の成果が現れていた。

22 北九州協会

事業

- 1) 太陽生命WSS 北九州大会運営補助 4/6、7 ミクニスタジアム
- 2) 北九州協会総会 5/19 商工会館
事業報告、収支報告等
- 3) ラグビー祭 6/2 新門司グランド
北九州協会所属スクール交流戦
- 4) 女子15人制代表テストマッチ大会運営補助 8/11 ミクニスタジアム
日本代表対アメリカ代表
- 5) 市民スポーツ大会 9/23 本城陸上競技場
北九州協会所属スクール交流戦 11/9 ミクニスタジアム
- 6) キッズスポーツアクセス 12/22 新門司グランド
北九州市主催スポーツ事業
- 7) ノーサイドゲーム
小学生卒業フェスタ
- 8) ナナイロカップ大会運営補助 2/8、9 ミクニスタジアム
- 9) ウェールズカップ 2/16 本城陸上競技場
北九州協会所属中学生大会

事業総括

ラグビー祭、市民スポーツ大会、ノーサイドゲーム、ウェールズカップ等の事業の運営を行いました。
大規模イベントとして女子日本代表テストマッチ等の運営補助に参加しました。
北九州市主催のスポーツ普及事業に参加しましたがスクールレベルの人数の増加には繋がっていません。

23 福岡市協会

事業

1) 市民総合スポーツ大会社会人大会 7チーム 参加県C級レフリー実技認定試験を実施	6/16,307/14,30	雁の巣RC球技場
2) 福岡市中学校大会	未実施	
3) 市民総合スポーツ大会小学生ちびっこラグビー大会 11チーム 518名 参加	6/14	雁の巣RC球技場
4) 市民総合スポーツ大会ミニラグビー大会 11チーム 360名 参加	10/14	雁の巣RC球技場
5) 市民総合スポーツ大会中学生ラグビー交流大会	未実施	
6) 福岡市中学校新人大会 3チーム(7校) 80名 参加	2/16	JAPAN BASE
7) 市民総合スポーツ大会福岡市社会人大会 7チーム 参加	3/23,30	西南社の湖畔公園球技場
8) 福岡市ジュニアラグビー大会 9チーム 309名 参加	3/9,20	JAPAN BASE雁の巣RC球技場

事業総括

「ラグビー文化の根づいた福岡」を目指すため、小学校低学年から社会人まで、若い世代を中心にラグビーの楽しさや運動する喜びを伝えることを目的として、福岡市協会主催の大会運営を行っている。
 全てのカテゴリーにおいて、目的である「ラグビーを楽しむこと」は達成できたと感じている。一方で、ラグビー人口の減少やグラウンドの確保といった面が課題である。
 今後は、安全な大会運営を継続していくとともに、競技人口が減少しているカテゴリーをピックアップし、更なる普及啓発に努めていく。
 また、福岡市協会の継続・発展をめざし、各カテゴリーでのスムーズな世代交代のための人材発掘に力を入れていく。

24 南部協会

事業

1) 南部7人制大会2024 高校 優勝 究真館A、一般 優勝 久留米大学	4/7	久留米大学医学部総合G
2) 総会 事業決算、次年度事業予算報告	4/21	久留米市民サポートセンター
3) 九州高専新人ラグビーフットボール大会 7人制 優勝 有明高専、15人制 優勝 久留米高専、タグ 優勝久留米高専	5/19	久留米高専
4) 役員会・事業打合せ 事業中間報告	7/14	久留米高専D1教室
5) レフリング指針講習会	7/14	久留米高専D4教室
6) 夏季高専・高校交流戦	8/24～28	久留米高専
7) 高校ラグビー交流会 7人制 久留米VS小郡、15人制 明善VS鳥栖工業	8/24	駅前不動産スタジアム
8) 中学生ラグビー交流戦 ブランビーVS りんどう	8/24	駅前不動産スタジアム
9) さくらセブンス合宿会場設営	11/2～4	久留米陸上競技場・久留米大学医学部総合G
10) 役員会 事業打合せ 事業中間報告	11/30	久留米市民サポートセンター
11) LERIROカップ(中学生クラブチーム) 大分県・福岡県のジュニア10チーム 優勝 大分ラグビースクール	2/9	浮羽究真館高校
12) 南部7人制大会2025 高校 優勝 究真館A、一般 優勝 浮羽A	3/9	久留米大学医学部総合グランド
13) 高校交流会 山口県・南部地区・福岡地区の高校交流会	3/16, 17	久留米大学医学部総合G
14) 役員会 事業決算、次年度事業予算報告	3/21	久留米市民サポートセンター
15) 春季高専・高校交流戦	3/20～25	久留米高専
16) リーグワンD3運営 11/17プレマッチ) 12/22・1/5・1/25・2/23・3/16・3/30	12月～3月	久留米陸上競技場

事業総括

4月7日に福岡県南部地区7人制ラグビーフットボールを実施。久留米大学医学部総合グランド(人工芝)にて南部地区の高校・大学・社会人を対象とする。その他に例年実施している高校ラグビー交流会、高校交流戦・中学ラグビー交流戦、ルリーロカップ中学交流戦、九州高専新人ラグビーフットボール大会へのレフリー派遣、役員会及び総会を実施。
 11月には女子7人制日本代表が久留米で合宿。その際の会場準備を担う。
 またリーグワン昇格したルリーロ福岡との交流を進めラグビー普及活動を行う。
 ルリーロ福岡の公式戦が久留米陸上競技場で開催。協会としては人的支援を含め支援実施。
 活動が活発となり資金不足となり久留米市ラグビー協会からの支援実施。今後収入改善が急務となっている。

25 筑豊協会

事業

1) 筑豊ラグビー交流会 中学生・高校生・社会人交流会	4/7	筑豊緑地グラウンド
2) 総会 令和5年度事業報告・令和6年度事業計画(案)	4/7	筑豊緑地
3) 理事会(第1回) 令和6年度日程確認 ラグビー体験会について	4/7	筑豊緑地
4) ラグビー体験会 タグ・ラグビー体験会(ひまわり幼稚園)	5/20	筑豊緑地グラウンド
5) 理事会(第2回) ラグビー体験会 小学生交流会について	7/20	庄内交流センター
6) 県リーグ戦 Aリーグ3試合	9/15	筑豊緑地グラウンド
7) ラグビー体験会 タグ・ラグビー体験会(ひまわり幼稚園)		筑豊緑地グラウンド
8) 県リーグ戦 Bリーグ2試合 Cリーグ2試合		筑豊緑地グラウンド
9) 筑豊ラグビー交流会 小学生交流会		筑豊緑地グラウンド
10) 理事会(第3回) 交流会の総括 次年度事業計画について		庄内交流センター
11) 筑豊緑地公園グラウンド調整会議 次年度グラウンド使用日程について		筑豊緑地管理事務所

事業総括

筑豊地区においては、各カテゴリにおいての登録チーム数は中学・少年:1、高校:2(休部1含む)、クラブ:1であり、各カテゴリにおいてほぼ1チームとなっている。そこで筑豊地区においてのラグビーの普及を目指し、「筑豊ラグビー交流会」、「ラグビー体験会」を計画した。交流会は2回、体験会については少年のチームと連携し開催することができた。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 剰 余 金	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	197,647	未 払 金	2,088,728
		ジュニアアスリート 補 助 金	580,312
普 通 預 金	9,545,702	女子強化事業補助金	580,000
西日本シティ銀行	9,545,702	タ グ 事 業 補 助 金	177,000
西日本シティ銀行		北 九 州 協 会 リーグワン運営補助金	60,000
		アジオセ福岡県負担 金 返 金 分	691,416
現金、預金計	9,743,349	預 り 金	1,347,867
		医 務 費	0
未 収 金	4,189,624	仮 受 消 費 税 等	0
協会HP広告バナー 協 賛 金	50,000	大 西 基 金	1,000,000
LO 運 営 清 算 残	1,130,070	雇 用 保 険 料 等	307,738
個人登録料不足金	1,547	そ の 他	40,129
強化特別未収金	1,870,000		
仮払事業残金	183,509		
アジオセ関連 (補 助 金 等)	879,798	繰 越 剰 余 金	10,496,378
住 民 税	74,700	前期繰越金	
		10,040,039	
		当期剰余金	
		456,339	
	13,932,973		13,932,973

令和6年度 収 支 決 算 書

九州ラグビーフットボール協会 殿

福岡県協会

項 目	収 入 の 部		支 出 の 部		項 目
	予 算 額	決 算 額	予 算 額	決 算 額	
前期繰越金	10,040,039	10,040,039			(旅 費 ・ 交 通 費)
チーム年会費	1,600,000		500,000	426,980	理事会交通費
個人年会費	8,300,000		300,000	357,020	切手、ゆうメール
チーム登録費			200,000	173,713	コピー、封筒
賛助会費			50,000	14,788	会場代、会議用お茶代
参加料			50,000	0	県協会エンブレム
高校指導普及協賛金	880,000		150,000	201,232	事務用品費
補助金	500,000		3,000,000	3,368,190	事務員給与
寄付金	500,000		600,000	600,000	負担金
広報収入	0		300,000	585,904	新聞代、振込料
受取利息	2,000		250,000	250,000	
雑収入	500,000		0	0	
			200,000	295,687	
			250,000	356,337	
			3,020,000	2,773,539	各委員会活動費
			3,400,000	4,223,454	
			880,000	1,320,000	全国高校大会県決勝放映料
			250,000	250,000	福岡県スポーツ協会負担金
			740,000	684,650	下部組織補助金
			0	0	
			500,000	442,083	
			0	103,975	
			0	0	
業務受託収入	9,000,000	15,951,243	6,500,000	10,769,510	リーグワン他経費
強化特別収入	8,000,000	11,276,922	8,000,000	11,276,922	成年少年女子他(スポーツ健・体協)
アジアオセアニアラグビー交流収入他	6,000,000	6,693,382	0	240,000	下部組織のLO運営に対する補助金
			0	400,000	
			6,000,000	6,693,382	福岡県委託事業
			10,182,039	10,496,378	
合 計	45,322,039	56,283,744	45,322,039	56,283,744	

監 査 意 見

令和7年4月25日

令和6年度、帳票、証拠書類及び預金通帳に基づき、詳細に監査を

実施しました結果、適正に処理されていた事を報告致します。

監 事



理事等改選予定表(案)

【改選役員】

会 長	荒 木 英 二
副 会 長	城 戸 英 敏
副 会 長	松 岡 英 雄
副 会 長	吉 田 幸 正
副 会 長	今 林 英 明

【改選理事】

理 事	伊 藤 節
理 事	兒 島 圭
理 事	山 口 伸 之
理 事	相 川 みどり
理 事	増 村 政 信
理 事	笹 井 賢 治
理 事	堀 内 恭 彦

【監事】

監 事	西 口 信 三
-----	---------

※ 今 期 は 非 改 正

《役員選任》

会 長	荒 木 英 二
副 会 長	松 岡 英 雄
副 会 長	吉 田 幸 正
副 会 長	今 林 英 明

《留任理事》

理 事	伊 藤 節
理 事	兒 島 圭
理 事	山 口 伸 之
理 事	相 川 みどり
理 事	増 村 政 信
理 事	笹 井 賢 治
理 事	堀 内 恭 彦

《新任理事》

理 事	濱 田 修 一
理 事	下 川 兼 典
理 事	吉 岡 泰 一

《退任役員》

理 事	城 戸 英 敏
-----	---------

《顧 問》

顧 問	鬼 木 誠
顧 問	渡 邊 勝 将
顧 問	浦 伊 三 夫
顧 問	坪 田 晋

令和7年度 事業計画

【試合・交流会】

期 日	行 事	区分	場 所
4月他	Fukuoka sevens league	女子	諫早市他
4月6日・13日・28日	筑豊ラグビー交流会	筑豊協会	筑豊緑地グラウンド 飯塚健康の森多目的広場
4月13日・19日	第12回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選	高校	各学校、春日公園球技場
4月19・20日	九州セブンズ大会	強化	長崎県島原市
4月27日～6月8日	第78回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選	高校	各学校、春日公園球技場
4月27日～7月6日	第47回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会	中学	舞鶴、春日、JAPAN BASE
4月28日～5月5日	SANIXワールドユース	主管試合	グローバルアリーナ
5月5日・6日	太陽生命WSS 2025チャレンジトーナメント	主管試合	JAPAN BASE
5月15日・20日・25日	女子アジアラグビーチャンピオンシップ2025	主管試合	JAPAN BASE
5月	第10回北部九州交流会	女子	佐賀県嬉野市
5月25日・6月1日 6月22日・29日	市民総合スポーツ大会社会人大会	福岡市協会	雁の巣RC球技場
6月	太陽生命カップ(福岡県予選)	女子	JB・白水大池・新門司
6月8日	市民総合スポーツ大会小学生ちびっこラグビー大会	福岡市協会	雁の巣RC球技場
6月8日	ラグビー祭	北九州協会	新門司グラウンド
7月	九州アイランドセブンズ交流大会	強化	鹿児島県鹿児島市
7月	JAPAN BASEセブンズ	強化	JAPAN BASE
7月5日	リポビタンDチャレンジカップ2025 日本対ウェールズ	主管試合	ミクニスタジアム
7月6日・13日	第41回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会	中学	舞鶴、春日、JAPAN BASE
7月19日	太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2025 日本対スペイン	主管試合	ミクニスタジアム
7月20日・21日	太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2025北九州大会	主管試合	ミクニスタジアム
8月2日	太陽生命カップ(九州予選)	女子	鯛生G
8月27日～30日	第45回九州ブロック国スポ	強化	長崎県長崎市
8月中旬	福岡県代表選手選考会	中学	舞鶴、春日
8月下旬	夏季高専・高校交流戦	南部協会	久留米高専
8月下旬	高校ラグビー交流会	南部協会	駅前不動産スタジアム
8月下旬	中学生ラグビー交流戦	南部協会	駅前不動産スタジアム
9月	太陽生命カップ(全国大会)	女子	茨城県水戸市
9月	U18セブンズ九州予選	女子	未定
9月～12月	県秋季リーグ戦	クラブ社会人	各会場
9月～11月	九州トップクラブリーグ戦	クラブ社会人	各会場
9月中旬～12月下旬	福岡県選抜練習会九州ジュニア選抜大会全国ジュニア選抜大会	中学	熊本、東京
9月27日	市民総合スポーツ大会中学生ラグビー交流大会	福岡市協会	舞鶴公園球技場
9月28日～11月30日	第43回福岡県中学生新人ラグビーフットボール大会	中学	舞鶴、春日、JAPAN BASE
9月28日	福岡県タグラグビーフェスタ	普及育成委員会	海の中道海浜公園
9月21日～11月15日	第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選	高校	各学校、博多の森、ベスタ

10月	第6回U18セブンズ全国大会	女子	熊谷ラグビー場
10月4日・11日	【JRLO】秋の大会(若手選手試合)	主管試合	JAPAN BASE、久留米陸上競技場
10月5日	2025国民スポーツ大会	強化	滋賀県
10月6日	2025国民スポーツ大会	強化	滋賀県
10月7日	2025国民スポーツ大会	強化	滋賀県
10月12日	市民スポーツ大会	北九州協会	新門司グランド
10月13日	市民総合スポーツ大会ラグビー大会	福岡市協会	雁の巣RC球技場
11月9日	九州クラブ実業団 一回戦	クラブ社会人	熊本or鹿児島
11月2日・9日・16日	第46回小学生県大会	普及育成委員会	春日、本城競技場、JAPAN BASE
11月	県新人大会	女子	未定
11月～12月	九州クラブ実業団	クラブ社会人	長崎県
11月29日	第62回全国大学ラグビー選手権大会2回戦	主管試合	JAPAN BASE
11月30日・12月6日	九州10人制大会予選	高校	各学校他
12月7日	第22回全国小学生タグラグビー選手権大会福岡県大会	普及育成委員会	未定
12月21日～2月8日	第48回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選	高校	各学校、春日公園球技場
12月	ノーサイドゲーム	北九州協会	
12月	入替戦	クラブ社会人	未定
12月	第14回九州ガールズフェスタ	女子	沖縄県
1月1日～5日	サニックスワールドラグビース交流大会2026予選会	主管試合	グローバルアリーナ
1月	九州ジュニアジャンボリー	女子	グローバルアリーナ
1月	第4回アジアオセアニアラグビー交流フェスタ	総務	JAPAN BASE
2月	第11回九州高校選抜セブンズ	女子	未定
2月	LERIROカップ(中学生クラブチーム)	南部協会	浮羽究真館高校
2月7日・8日	北洋建設present Nanairo CUP KYUSYU WOMENS SEVENS 2026	主管試合	ミクニスタジアムor本城陸上競技場
2月15日	ウェールズカップ	北九州協会	本城陸上競技場
2月22日・3月1日	第36回小学生新人大会	普及育成委員会	JAPAN BASE
3月	南部7人制大会2026	南部協会	久留米大学医学部総合G
3月	高校交流会	南部協会	久留米大学医学部総合G
3月1日・8日	第40回福岡県中学校新人ラグビーフットボール大会	中学	春日公園球技場
3月1日・15日	市民総合スポーツ大会福岡市7人制ラグビー大会	福岡市協会	雁の巣RC球技場
3月8日・9日	SANIXセブンズキャンプ	女子	グローバルアリーナ
3月8日・20日	福岡市ジュニアラグビー大会	福岡市協会	雁の巣RC球技場
3月8日	福岡県タグラグビーフェスタ	普及育成委員会	
3月20日	高校7人制交流大会	北九州協会	新門司グランド
3月29日	小学生卒業フェスティバル	普及育成委員会	未定
3月下旬	春季高専・高校交流戦	南部協会	久留米高専
未定	福岡市中学校大会	福岡市協会	未定
未定	福岡市中学校新人大会	福岡市協会	未定

【研修・講習会】

3月17日～	安全推進講習会	安全対策	オンライン
3月17日～	セーフティーアシスタント認定講習会	安全対策	オンライン
4月12日	クラブ総会&懇親会	クラブ社会人	JAPAN BASE
4月12日	強化推進事業	強化	福岡市
4月～6月	C級レフリー筆記・実技テスト	レフリー	座学・筆記試験：福岡市内 実技：雁の巣グラウンド
4・9・11・1月	JRFUコーチング部門会議	コーチ	オンライン
4月～8月	九州協会研修派遣レフリーレベルアップ [°]	レフリー	各試合会場
4月～11月	ピッチコントロール研修	レフリー	各試合会場
4月	総会	南部協会	久留米市民サポートセンター
4月13日	総会	筑豊協会	飯塚健康の森
5月3日	ラグビー体験会	普及育成委員会	海の中道海浜公園
5月18日	北九州協会総会	北九州協会	商工会館
5月	九州アカデミーセレクションへの派遣	レフリー	諫早
5月	令和7年度福岡県選手強化推進事業前期ヒアリング [°]	強化	福岡市
5月下旬～10月	選手強化事業	強化	福岡市
5～6月	B・C級レフリー強化研修会	クラブ社会人	
6・12・2月	九州レフリー委員長会議	レフリー	熊本
6月以降	ラグビークリニック	総務	JAPAN BASE(6回)
7月23日～27日	JRFU A級コーチ養成講習会(講義はオンライン、実技は集合)	コーチ	オンライン 集合：グローバルアリーナ
7月	レフリング指針講習会	レフリー	福岡・北九州・久留米
7月・11月	全国コーチ委員長会議	コーチ	オンライン
7月下旬	九州協会B級レフリー研修会	レフリー	大分県(久住)
7月・2月	福岡県レフリー委員会	レフリー	協会事務所
7月・3月	ラグビー普及活動	福岡市協会	九州産業大学、JAPAN BASE
8月1日	タグ・ラグビーティーチャー研修会	普及育成委員会	アクション福岡
8月23日	公式戦前会議	クラブ社会人	未定
8月初旬	九州協会B級トップレフリー研修会	レフリー	大分県(由布院)
8月中旬	九州協会B級レフリー認定講習会	レフリー	座学：オンライン 実技：阿蘇
8月下旬	若手レフリー研修	レフリー	久留米高専合宿
9月予定	コーチカンファレンス	コーチ	オンライン
9月～12月	B級中堅・有望C級レフリー派遣	レフリー	ルークス'カップ交流戦、 U16U17交流会、シーズン試合
9月以降	ラグビー体験授業	総務	県内の小学校(12回)
10月	高校ラグビー決勝放映交渉	広報	各社

11月下旬	MRR認定講習会	レフリー	宗像キッズセブンズ
11月、3月	MRR研修	レフリー	小学生大会
12月11日～14日	JRFU B級コーチ養成講習会(講義はオンライン、実技は集合)	コーチ	オンライン 集合:福岡大学
1月	懇親会	クラブ社会人	未定
2月	令和7年度福岡県選手強化推進事業後期ヒアリング	強化	福岡県庁
3月	メディカル・安全対策合同総会	安全対策	
3月	選手強化事業	強化	福岡市
未定	JRFU C級コーチ養成講習会(集合型 2～4回)	コーチ	未定
未定	JRFU C級コーチ養成講習会(集合型 JRFU主催女性限定)	コーチ	未定
未定	ラグビー体験会	筑豊協会	
未定	MRR認定講習会	普及育成委員会	グローバルA
年間通して	理事会(年6回予定)	クラブ社会人	福岡県協会事務所
年間通して	スタートコーチ資格認定講習会	コーチ	オンライン

令和7年度 事業計画(案)

2 総会

令和7年5月18日(日)16時～ 場所:福岡中央銀行 本店 7階 大会議室
※必要に応じ臨時総会も開催

3 理事会

理事会は、特別な事情がない限り、次のとおり定例会を開催する。
特別な事情がある場合、適宜臨時会を開催する。
【定例会】5月・4月(年2回開催予定)

4 常任委員会

所掌事務 本協会が行う事業の円滑な遂行に資すること
・業務執行に関する審議
・大会等事業の運営会運営、事業、
【定例会】6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月・4月(年11回開催予定)

5 企画委員会

重点事項

- ・協会運営上の重要事項についての協議
- ・協会運営の基盤整備(異世代リーダーの育成)
- ・理事会、常任委員会提出議案の事前審議

委員会の開催

委員会が必要に応じて随時開催していく。

内 容

- 1) 総会・理事会・常任委員会での審議事項等の事前検討、実施
- 2) 次世代を担う人材の発掘育成

6 総務委員会

年間随時開催する。

重点事項

- ・組織力強化のため、将来の協会運営を担う人材の育成(アカデミー)の開催
- ・各規程の整備
- ・コンプライアンス教育の徹底
- ・財政基盤の整備(各種補助金等財源の確保)
- ・福岡県ラグビーによる交流推進事業の企画実施「アジアラグビー交流フェスタ」「ラグビー体験授業」「ラグビークリニック」の継続
- ・ラグビー事業の価値を向上させるための施策の研究

内 容

- 1) 総会・理事会・常任委員会での審議事項等の取りまとめ
- 2) 各地区協会及び委員会との調整(所掌業務等の検討)
- 3) 他団体からの照会事項等の検討及び回答
- 4) 表彰業務(各種団体への表彰具申)
- 5) 「ラグビー普及部」の組織力強化
- 6) 一般社団法人としての各種規程の整備
- 7) スポーツ団体ガバナンスコードへの原則順守

事 業

- | | | |
|---------------------------|------|----------------|
| 1) 第4回アジア・オセアニアラグビー交流フェスタ | 1月 | JAPAN BASE |
| 2) ラグビー体験授業 | 9月以降 | 県内の小学校(12回) |
| 3) ラグビークリニック | 6月以降 | JAPAN BASE(6回) |
| 4) ガバナンスコード自己評価と公表 | 3月 | |
| 5) 所各種規程の整備 | 通年 | |

7 主管試合実行委員会

重点事項

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE2025-26の運営をチームと共同実施し、スムーズな運営に努める。
男子・女子の日本代表テストマッチ、女子アジアチャンピオンシップ、太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ、全国大学選手権大会、サニックスワールドユース交流大会(予選会)の運営において、スムーズな大会運営を目指す。

実行委員会の開催

委員会は必要に応じて随時開催していく。

事業

- | | | | | | |
|---|-------------|---------|-----------------|----------|------------------|
| 1) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 | | | | | |
| D2 第11節 | 九州KV | 33 - 36 | 日野RD | 4/11 | 博多の森陸上競技場 |
| D2 第13節 | 九州KV | - | 江東BS | 5/3 | 【宮崎県】クロキスタジアム |
| D3 第14節 | LR福岡 | - | SA広島 | 5/4 | 久留米陸上競技場 |
| 2) サニックスワールドラグビーユース交流大会2025 | | | 4/28~5/5 | | グローバルアリーナ |
| 3) 太陽生命WSS 2025チャレンジトーナメント | | | 5/5・6 | | JAPAN BASE |
| 4) 女子アジアラグビーエキシテツチャンピオンシップ2025 | | | | | |
| 第1戦 | 女子日本代表 | - | 女子カザフスタン代表 | 5/15 | JAPAN BASE |
| 第2戦 | 女子カザフスタン代表 | - | 女子ホンコンチャイナ代表 | 5/20 | JAPAN BASE |
| 第3戦 | 女子日本代表 | - | 女子ホンコンチャイナ代表 | 5/25 | JAPAN BASE |
| 5) リポビタンDチャレンジカップ2025 | | | | | |
| | 日本代表 | - | ウェールズ代表 | 7/5 | ミニワールドスタジアム北九州 |
| 6) 太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2025 | | | | | |
| | 女子日本代表 | - | 女子スペイン代表 | 7/19 | ミニワールドスタジアム北九州 |
| 7) 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2025北九州大会 | | | 7/20・21 | | ミニワールドスタジアム北九州 |
| 8) 【JRLO】秋の大会(若手選手試合) | | | | | |
| 第2週 | 九州KV | - | LR福岡 | 10/4 | JAPAN BASE(調整中) |
| 第3週 | LR福岡 | - | 中国RR | 10/11 | 久留米陸上競技場 |
| 9) 全国高等学校ラグビーフットボール大会福岡県予選 | | | | | |
| 準決勝戦 | | | 11/8 | | 博多の森陸上競技場ほか |
| 決勝戦 | | | 11/15 | | ベスト電器スタジアム |
| 10) トップキュウシュウリーグ順位決定トーナメント | | | 11/8・9・22・23・24 | | オクゼン春日公園球場ほか |
| 11) 第62回全国大学ラグビー選手権大会2回戦 | | | 11/29 | | JAPAN BASE |
| 12) 3地域社会人リーグ順位決定トーナメント | | | | | |
| 2回戦 | トップキュウシュウ1位 | - | トップウエスト2位 | 12/20・21 | 九州開催 |
| 13) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2025-26 | | | 12月13日~5月 | | ミニワールドスタジアム北九州 |
| | | | | | 博多の森陸上競技場 |
| | | | | | 久留米陸上競技場ほか |
| 14) サニックスワールドラグビーユース交流大会2026予選会 | | | 1/1~5 | | グローバルアリーナ |
| 15) 北洋建設presents Nanairo CUP北九州 | | | 2/7・8 | | ミニワールドスタジアム北九州or |
| 『KYUSHU WOMEN'S SEVENS 2026』 | | | | | 本城陸上競技場 |

8 競技委員会

重点事項

競技場等の確保ならびに円滑な利用促進。

事業

- | | | |
|--------------------------|----|----|
| 1) グラウンド調整会議事前打ち合わせ | 未定 | 未定 |
| 2) グラウンド利用調整会議 | 未定 | 未定 |
| 3) グラウンド調整会議(各カテゴリー割り付け) | 未定 | 未定 |

9 広報委員会

重点事項

- ① 情報発信の強化
ライブ配信も含め、動画を利用した情報を発信を行う。
- ② 協会のDX化
情報共有を整備する。
- ③ 県協会HPの情報発信
チーム紹介をする
Webを利用した収益化を拡大する。
- ④ 取材範囲の拡大
全てのカテゴリーをアピールする。

内 容

1) リーグワン	受付、記録、記者会見	4月・5月	各地
2) サニックス2024ワールドユース	記録補助、写真撮影	5月	グローバルアリーナ
3) 福岡県中学生大会	広報活動(写真撮影)	5月	各地
4) 秋季クラブリーグ戦	広報活動(写真撮影)	9月	各地
5) 福岡県大学リーグ	広報活動(写真撮影)	9月	各地
6) 高校ラグビー決勝放映交渉	11月 放送枠交渉	10月	各社
7) 福岡県高校大会	広報活動(写真撮影)	10月	各地
8) 福岡県中学生大会	広報活動(写真撮影)	10月	各地
9) 第61回全国大学選手権大会	受付、記録、撮影、SNS	11月	未定
10) 福岡県高校新人大会	広報活動(写真撮影)	12月	各地
11) 福岡県中学新人大会	広報活動(写真撮影)	11月	各地
12) サニックスワールドユース予選会	広報活動(写真撮影)	1月	グローバルアリーナ

10 規律委員会

重点事項

- ラグビー活動の根本理念であるフェアプレーの遵守。
- 選手・指導者・観戦者へのコンプライアンス意識の啓蒙。
- 選手登録等の事務手続きにおいてもコンプライアンスの周知徹底。
- 選手・指導者等のスポーツ・インテグリティ遵守によりドーピング、パワハラ、否社会的行為等をなくす。

内 容

- 1) 規律・コンプライアンス・インテグリティに関すること

11 レフリー委員会

重点事項

県内レフリーのレベルアップして、より質の高い、魅力あるラグビーを発信する。

- C級レフリー全体のレベルアップ活動: 認定講習会、カテゴリー別研修を実施。
- 若手レフリーへのモチベーションアップ活動: 若手レフリー研修
- C級レフリーの九州協会B級認定を見据えたレベルアップ活動
春先より候補レフリーを挙げ、高校練習試合を担当、コーチング実施する。
- B級中堅、若手レフリーの九州協会B級トップ・レベルアップを見据えた活動
ルーキーズカップ、U16U17九州交流会、ワールドユース予選に派遣。
- MRRのレベルアップ: 認定講習会、研修
- 女子レフリー発掘
九州協会女子部門と連携した活動
- シーズン試合割当て構造の明確化、運営の効率化

事業

1) C級レフリー筆記・実技テスト C級レフリーの認定(MO資格制度)		4月～6月	座学・筆記試験: 福岡市内 実技: 雁の巣グラウンド
2) 九州アカデミーセレクションへの派遣 九州協会アカデミー事業	2名予定	5月	諫早
3) レフリング指針講習会 日本協会レフリング指針、ルール変更伝達	3回実施	7月	福岡・北九州・久留米
4) 若手レフリー研修 研修会: 座学、実技コーチング		8月下旬	久留米高専合宿
5) 九州レフリー委員長会議 事業・研修会打合せなど	3回(2回はオンライン)	6, 12, 2月	熊本
6) 福岡県レフリー委員会 ルール伝達、研修会打合せなど	2回実施	7月、2月	協会事務所
7) 九州協会B級レフリー認定講習会 受講レフリー派遣		8月中旬	座学: オンライン 実技: 阿蘇
8) 九州協会B級レフリー研修会 レフリー派遣	6名派遣	7月下旬	大分県(久住)
9) 九州協会B級トップレフリー研修会 レフリー派遣	九州協会指名	8月初旬	大分県(由布院)
10) B級中堅・有望C級レフリー派遣 九州協会事業へのレフリー派遣、レベルアップ		9月～12月	ルーキーズカップ交流戦、 U16U17交流会、シーズン試合
11) 九州協会研修派遣レフリーレベルアップ 春・夏の練習試合でのコーチング		4月～8月	各試合会場
12) ピッチコントロール研修 春～秋シーズン試合を担当	2人をJRLONパネルに推薦する	4月～11月	各試合会場
13) MRR認定講習会 座学、実技実施		11月下旬	宗像キッズセブンズ
14) MRR研修 実技コーチング		11月、3月	小学生大会

12 コーチ委員会

重点事項

例年に引き続き、コーチ資格者の増加を図る。
コーチ数の増加が、プレーヤー・チームのレベルアップ、コアバリューの認識度アップにも繋がり、世間に対するラグビーのイメージアップにも繋がると考えている。

コーチによるパワハラ的な指導やコーチ中心の一方的なコーチングが今でも散見されるようなので、それをなくすためにもコーチの学びの場が必要となるので、C級コーチ講習会の開催を増やす。

B級・A級と福岡県での開催も引き続き行っていく。

県内コーチの受講率を上げる。

女性コーチの普及を増やすことも女子選手数増進のために重要だが、まずは女性コーチの人数、コーチングレベル、頻度などの実態を調査し将来につなげる。

事業

1) スタートコーチ資格認定講習会	オンライン開催	年間通して	オンライン
2) JRFU A級コーチ養成講習会	講義はオンライン 実技は集合	7/23～27	オンライン 集合:グローバルアリーナ
3) JRFU B級コーチ養成講習会	講義はオンライン 実技は集合	12/11～14	オンライン 集合:福岡大学
4) JRFU C級コーチ養成講習会	集合型 2～4回	未定	未定
5) JRFU C級コーチ養成講習会	集合型 JRFU主催女性限定	未定	未定
6) コーチカンファレンス	オンライン開催	9月予定	オンライン
7) 全国コーチ委員長会議	オンライン開催	7月、11月予定	オンライン
8) JRFUコーチング部門会議	オンライン開催	4月、9月、11月、1月	オンライン

13 中学委員会

重点事項

○強化事業は、引き続き競技力の向上と、全国ジュニア大会での男女ともに優勝を目指す。
○主催大会において、芝のグラウンドでの実施を目指す。
○競技人口の継続的な増加を目指す。

事業

1) 第47回福岡県中学生ラグビーフットボール競技大会 兼太陽生命カップファーストステージ 新島杯 九州大会兼太陽生命カップセカンドステージ予選	4/27～7/6	舞鶴公園球技場 春日公園球技場 JAPAN BASE
2) 第41回福岡県中学校ラグビーフットボール競技大会 兼太陽生命カップファーストステージ 新島旗 九州大会兼太陽生命カップセカンドステージ予選	7/6, 13	舞鶴公園球技場 春日公園球技場 JAPAN BASE
3) 福岡県代表選手選考会 男女福岡県代表選手の選出セレクションマッチ	8月中旬	舞鶴公園球技場 春日公園球技場
4) 福岡県選抜練習会九州ジュニア選抜大会全国ジュニア選抜大会 全国大会予選全国選抜大会	9月中旬～12月下旬	熊本、東京
5) 第43回福岡県中学生新人ラグビーフットボール大会 クラブ県大会シード予選中学校・クラブ交流戦	9/28～11/30	舞鶴公園球技場 春日公園球技場 JAPAN BASE
6) 第40回福岡県中学校新人ラグビーフットボール大会 県大会シード決め	3/1, 8	春日公園球技場

14 普及育成委員会

重点事項

令和7年度の重点課題

課題としては引き続き以下の項目を掲げ、活動したい。

- ①U8へのアプローチ→年度のどこかで交流会を実施。
- ②女子コーチ、MRRの発掘育成→引き続きスクールと連携し、声掛けを実施。
- ③行政や諸団体との関係強化
- ④各スクールでの体験会への連携→本年度はウェールズ戦を絡め、北九州地区で開催予定。
- ⑤協賛企業の開拓→継続。
- ⑥各スクールにおけるインティグリティ対策の徹底。

事業

【ミニラグビー部門】

- | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|---------------------|
| 1) 第46回小学生県大会 | 小6・小5対象 | 11/2、11/9、11/16 | 春日公園・本城競技場JAPANBASE |
| 2) MRR認定講習会 | 受講者20名程度を予定 | 未定 | グローバルA |
| 3) 第36回小学生新人大会 | 小5・小4対象 | 2/22、3/1 | JAPANBASE |
| 4) 小学生卒業フェスティバル | | 3/29 | 未定 |

【タグラグビー部門】

- | | | | |
|------------------------------|--|------|----------|
| 1) ラグビー体験会 | | 5/3 | 海の中道海浜公園 |
| 2) タグ・ラグビーティーチャー研修会 教職員向け | | 8/1 | アクション福岡 |
| 3) 福岡県タグラグビーフェスタ | | 9/28 | 海の中道海浜公園 |
| 4) 第22回全国小学生タグラグビー選手権大会福岡県大会 | | 12/7 | 未定 |
| 5) 福岡県タグラグビーフェスタ | | 3/8 | |

15 安全対策委員会

重点事項

安全推進講習会、セイフティーアシスタント認定講習会は日本協会主催のオンライン講習形式が定着してきている。さらに受講者を増やすために案内していく。特にセイフティーアシスタント認定講習会は無料と成っているので増やしていきたい。

全国的に重症傷害が増加傾向にあり、県内でもR6年度は2件発生した。防止対策を行うとともに、発生時の速やかな報告体制を構築していく。

事業

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| 1) 安全推進講習会 | 3/17～ | オンライン |
| 2) セイフティーアシスタント認定講習会 | 3/17～ | オンライン |
| 3) メディカル・安全対策合同総会 | 3月 | |

17 クラブ社会人委員会

重点事項

試合のグラウンド(芝)・練習場所の確保。
クラブ・社会人のメンバー登録の数が年々減って来ており、一度ラグビーを離れた方々の掘り起こしを如何に行うか、今後の活動を再度、見直す
秋季リーグ戦において、悪天候で中止になった試合の再試合は行わない

事業

1) クラブ総会&懇親会	4/12	JAPAN BASE
2) 理事会 年6回予定		福岡県協会事務所
3) B・C級レフリー強化研修会	5～6月	
4) 公式戦前会議	8/23	未定
5) 県秋季リーグ戦	9月-12月	各会場
6) 九州トップクラブリーグ戦	9月-11月	各会場
7) 九州クラブ実業団 一回戦	11/9	熊本or鹿児島
8) 九州クラブ実業団	11月-12月	長崎県
9) 入替戦	12月	未定
10) 懇親会	1月	未定

18 大学・高専委員会

重点事項

5月、6月に合同練習を実施

事業

【大学】

1) 合同練習	5月	JAPAN BASE
2) 合同練習	6月	JAPAN BASE

19 高校委員会

重点事項

昨年からの継続的課題としてあげられる事項として、各チームの登録人数の増加(RWCの影響による期待も含めて)にむけた取り組みや、重傷事故が起こらない安全な大会運営と安全対策の徹底を運営側だけでなく施設管理団体並びに家庭にも協力を頂くことが必須となっている。更には、U15～U18までの全てのカテゴリーと連携を図り、県代表チーム強化と支援を継続的に実施していく。

事業

1) 第12全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会県予選 (3/19組合せ抽選会)		
予選リーグ	4/13	各高校
決勝トーナメント	4/19	春日公園球技場
2) 第78回全九州高等学校ラグビーフットボール大会県予選 (4/11組合せ抽選会)		
1回戦～2回戦	4/27～	各高校
3回戦	5/18	各学校
準々決勝	5/25	各学校
準決勝	6/1	春日公園球技場
決勝・3決	6/8	春日公園球技場

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|
| 3) 第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選
(9/10組合せ抽選会) | 1回戦～3回戦
4回戦
準々決勝
準決勝
決勝 | 9/21～
10/26
11/2
11/8
11/15 | 各高校
未定
未定
博多の森陸上競技場
ベスト電器スタジアム |
| 5) 九州10人制大会予選 | 予選リーグ
決勝トーナメント | 11/30
12/6 | 各高校
未定 |
| 4) 第48回全九州ラグビーフットボール新人大会県予選
(11/19組合せ抽選会) | 1回戦・2回戦
3回戦
準々決勝
準決勝
決勝 | 12/21～
1/18
1/26
2/1
2/8 | 各高校
各学校
各学校
春日公園球技場
春日公園球技場 |

20 強化委員会

重点事項

令和7年度滋賀県で開催される2025国民スポーツ大会において、2種目3種別(7人制成年男子・女子、15人制少年男子)で九州ブロックの代表権を獲得し本大会での競技別成績第1位を目標とする。

【目標】 男女総合得点第一位

【重点事業】 本県選手が対象となる福岡県選手強化推進事業やトップアスリート・女性アスリート育成事業などにおいて計画どおりに各事業を遂行し、本県選手の競技力向上を図る

本事業は例年同様に当協会ビジョンにおける「4.課題克服のための事業の柱」の「(3)選手の育成・強化体制、指導者育成体制の構築」に基づくもので、指導方法や指導体制の拡充と合わせた活動であり、国民体育大会を通じラグビー競技が地域スポーツの発展に寄与するもの。

事業

- | | | |
|---|----------|-------------------------|
| 1) 強化推進事業
九州セブンズメンバーによる練習会 | 4/12 | 福岡市 JAPAN BASE |
| 2) 九州セブンズ大会
予選リーグと順位決定トーナメント | 4/19, 20 | 長崎県島原市
復興アリーナ |
| 3) 令和7年度福岡県選手強化推進事業前期ヒアリング
令和7年度の競技団体事業計画と選手強化方針の県への説明 | 5月 | 福岡市 福岡県庁 |
| 4) 選手強化事業
国スポ候補選手による強化練習と選手セレクト | 5月下旬 | 福岡市 JAPAN BASE |
| 5) 選手強化事業
国スポ候補選手による強化練習と選手セレクト | 6月中旬 | 福岡市 JAPAN BASE |
| 6) 九州アイランドセブンズ交流大会
未定 | 7月 | 鹿児島県鹿児島市
ふれあいスポーツランド |
| 7) JAPAN BASEセブンズ
未定 | 7月 | |
| 8) 選手強化事業
九プロメンバーによる強化練習 | 8月上旬 | 福岡市 JAPAN BASE |
| 9) 選手強化事業
九プロメンバーによる強化練習 | 8月中旬 | 福岡市 JAPAN BASE |
| 10) 第45回九州ブロック国スポ
公式練習および競技開始式 | 8/27 | 長崎県長崎市
かきどまり球技場 |
| 11) 第45回九州ブロック国スポ
予選未定 | 8/28 | 長崎県長崎市
かきどまり球技場 |
| 12) 第45回九州ブロック国スポ
代表決定戦未定 | 8/30 | 長崎県長崎市
かきどまり球技場 |
| 13) 選手強化事業
国スポメンバーによる強化練習 | 9月 | 福岡市 JAPAN BASE |

14) 2025国民スポーツ大会 公式練習および競技開始式	10/5	滋賀県
15) 2025国民スポーツ大会 予選リーグ	10/6	滋賀県
16) 2025国民スポーツ大会 決勝トーナメント	10/7	滋賀県
17) 令和7年度福岡県選手強化推進事業後期ヒアリング 令和7年度の競技団体事業の活動報告	2月	福岡市 福岡県庁
18) 選手強化事業 令和8年度のチーム編成を見据えた選手招集	3月	福岡市 JAPAN BASE

21 メディカル委員会

重点事項

ミクニでのテストマッチ2試合をはじめとして、太陽生命シリーズなどのエリートレベルの試合も予定されているため事前に入念な準備をして臨む予定である。GWは中学・高校・World youth・JRLOの試合が重複し、試合数が多いため、Match day doctorを全試合派遣できるように調整中である。その他中学高校・九州学生・トップキュウシュウ・トップクラブもDrを派遣できるように人材の育成やDrの調整などを行っていく予定である。

事業

公式戦へのドクター派遣

各地

22 女子委員会

重点事項

※「普及事業」については各カテゴリー担当者や県内女子チーム代表者と情報を共有し、福岡県における女子競技者のパスウェイを構築したいと思う。特に「小学から中学」「中学から高校」へのスムーズな継続環境を整えて行きたい。
※「強化事業」の(国民スポーツ大会)においては、基本的には昨年(オール福岡)を形成した過程を辿りたいと思うが、太陽生命WSSの日程変更やセブンズアジアシリーズ、8月開催の15人制ワールドカップなど、選手選考に当たって想定される事態に対する対応を考えていきたいと思う。

事業

(中学生)

1) 第10回北部九州交流会	5月	佐賀県嬉野市
2) 太陽生命カップ(福岡県予選)	6月	JB・白水大池・新門司
3) 太陽生命カップ(九州予選)	8/2	鯛生G
4) 太陽生命カップ(全国大会)	9月	茨城県水戸市
5) 第14回九州ガールズフェスタ	12月	沖縄県
6) 九州ジュニアジャンボリー	1月	グローバルアリーナ
7) SANIXセブンズキャンプ スホ協「中学生発掘強化事業」U15	3/8～3/9	グローバルアリーナ
8) Fukuoka sevens league Princess league(広域)	4月他	諫早市他
9) 県新人大会 (高校生)	11月	未定
1) SANIXワールドユース	4/27～29	グローバルアリーナ
2) 菅平交流会 県「競技力強化事業」次世代ジュニア強化	8/3～6	長野県菅平
3) U18セブンズ九州予選	9月	未定
4) 第6回U18セブンズ全国大会	10月	熊谷ラグビー場
5) 第14回九州ガールズフェスタ	12月	沖縄県
6) 第11回九州高校選抜セブンズ	2月	未定
7) SANIXセブンズキャンプ (成年)	3/8～3/9	グローバルアリーナ
1) 北洋建設present Nanairo CUP KYUSYU WOMENS SEVENS 2024 中学生交流試合	2月	ミクニスタジアム

(国体)		
1) 強化練習会 県「競技力強化事業」	6月	太陽生命WSS視察
2) 強化練習会 県「女子アスリート強化事業」	7月	未定
3) 九州ブロック国民スポーツ大会	8月	長崎県
4) 第79回国民スポーツ大会	10月	滋賀県

23 北九州協会

重点事項

従来の事業を行います。本年はテストマッチが2戦、太陽生命カップの大規模事業がミクニスタジアムで行われるのでこのイベントを通じて競技の普及育成を行いたい。

事業

1) 北九州協会総会 事業報告、収支報告等	5/18	商工会館
2) ラグビー祭 北九州協会所属スクール交流戦	6/8	新門司グランド
3) 15人制男子代表テストマッチ大会運営補助 日本代表対ウェールズ代表	7/5	ミクニスタジアム
4) 15人制女子代表テストマッチ大会運営補助 日本代表対スペイン代表	7/19	ミクニスタジアム
5) 太陽生命WSS 北九州大会運営補助	7/20, 21	ミクニスタジアム
6) 市民スポーツ大会 北九州協会所属スクール交流戦	10/12	新門司グランド
7) ノーサイドゲーム 小学生卒業フェスタ	12月	
8) ウェールズカップ 北九州協会所属中学生大会	2/15	本城陸上競技場
9) 高校7人制交流大会 北九州協会所属高校7人制	3/20	新門司グランド

24 福岡市協会

重点事項

1. ラグビーの楽しさや運動する喜びを伝えるため、幼児から大人までの競技大会の開催
2. 安全な大会運営、大会運営のためのグラウンド確保
3. ラグビー競技人口の増加のための普及啓発活動

事業

1) 市民総合スポーツ大会社会人大会 クラブ・社会人7チーム 参加予定県C級レフリー実技認定試験を実施予定	5/25, 6/16/22, 29	雁の巣RC球技場
2) 福岡市中学校大会 中学校6校 参加予定	未定	未定
3) 市民総合スポーツ大会小学生ちびっこラグビー大会 スクール11チーム 参加予定	6/8	雁の巣RC球技場
4) 市民総合スポーツ大会ミニラグビー大会 スクール11チーム 参加予定	10/13	雁の巣RC球技場
5) 市民総合スポーツ大会中学生ラグビー交流大会 中学校6校 参加予定	9/27	舞鶴公園球技場
6) 福岡市中学校新人大会 中学校6校 参加予定	未定	未定
7) 市民総合スポーツ大会福岡市7人制ラグビー大会 クラブ・社会人16チーム 参加予定	3/1,15	雁の巣RC球技場
8) 福岡市ジュニアラグビー大会 スクール9チーム 参加予定	3/8,20	雁の巣RC球技場
9) ラグビー普及活動 U18普及活動 フレンドリーマッチ福岡版	7月,3月	九州産業大学JAPAN BASE

25 南部協会

重点事項

3月9日に2025年度分福岡県南部地区7人制ラグビーフットボールを実施。久留米大学医学部総合グラウンド(人工芝)にて南部地区の高校・大学・社会人を対象とする。その他に例年実施している高校ラグビー交流会、高校交流戦・中学ラグビー交流戦、ルリーロカップ中学交流大会、九州高専新人ラグビーフットボール大会へのレフリー派遣、役員会及び総会を実施予定。
今後ナナイロプリズムによるクリニック開催。協会としても女子選手育成の援助を検討中。
今年度もルリーロ福岡の公式戦が久留米陸上競技場で開催予定。協会としては人的支援を含め継続支援していく方針。

事業

1) 総会	4月	久留米市民サポートセンター
2) リーグワンD3運営	5月4日	久留米陸上競技場
3) 役員会・事業打合せ・役員交代	7月下旬	久留米高専D3教室
4) レフリング指針講習会	7月下旬	久留米高専D4教室
5) 夏季高専・高校交流戦	8月下旬	久留米高専
6) 高校ラグビー交流会	8月下旬	駅前不動産スタジアム
7) 中学生ラグビー交流戦	8月下旬	駅前不動産スタジアム
8) LERIROカップ(中学生クラブチーム)	2月	浮羽究真館高校
9) 南部7人制大会2026	3月	久留米大学医学部総合G
10) 高校交流会	3月	久留米大学医学部総合G
11) 役員会	3月	久留米市民サポートセンター
12) 春季高専・高校交流戦	3月下旬	久留米高専
13) リーグワンD3運営	12月～3月	久留米陸上競技場

26 筑豊協会

重点事項

令和7年度も引き続き筑豊地区での普及を目指し、「筑豊ラグビー交流会」「ラグビー体験会」等に取り組んでいきたい。少ないチーム数であるが各カテゴリごとのチームと連携しながら各種事業を計画実施していきたい。

事業

1) 筑豊ラグビー交流会 中学生・高校生交流会	4/6	筑豊緑地グラウンド
2) 筑豊ラグビー交流会 小学生交流会	4/13 4/13	飯塚健康の森多目的広場
3) 総会 令和6年度事業報告・令和7年度事業計画(案)	4/13	飯塚健康の森
4) 理事会(第1回) 令和7年度日程確認	4/13	飯塚健康の森
5) 理事会(第2回) ラグビー体験会について	未定	
6) ラグビー体験会 タグ・ラグビー体験会	未定	
7) 県リーグ戦	10/19, 11/16	筑豊緑地グラウンド
8) 理事会(第3回) 筑豊ラグビー交流会について	未定	未定
9) 筑豊ラグビー交流会 小学生・中学生交流会	12/28	筑豊緑地グラウンド
10) 筑豊緑地公園グラウンド調整会議 次年度グラウンド使用日程について	未定	未定
11) 理事会(第4回) 筑豊ラグビー交流会・次年度事業計画 等について	未定	未定

令和7年度 収支予算書(案)

[illegible]